科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習　F20 (Seminars F20)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	批評的なエッセー集を編む／テクストを読み、単行本を製作する共同作業		
担当者名 (Instructor)	熊沢　敏之(KUMAZAWA TOSHIYUKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW3810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

折々に書かれた、さまざまな内容と文体をもつエッセイを読み、それを編集して 1 冊の単行本に仕上げるまでの編集者の実務を追体験する演習である。①各エッセイの内容をきちんと読みとる。②本の全体像(目次)をイメージし、それにふさわしい版面を決定する。③テクストを入稿し、装丁も施して、通読可能な「モノ」としての本の形を整える。こうして、「読む‐作る」という課題を実践しながら、編集に携わった個々の学生に固有の単行本を完成させる。

In this seminar, you experience the editor's work through the act of reading-making.　First you read various essays, and then edit them into one book.　The seminar proceed as follows.
1. Read the contents of the essays properly.
2. Imagine the whole picture or the table of contents of the book, and decide the printing image suitable for it.
3. Send the text for printing and bind the book, and format the book as a readable "product."

授業の内容(Course Contents)

市村弘正『小さなものの諸形態』(筑摩書房、1994 年)所収の 11 本の思想的エッセイをまずは先入観なしに読んで、著者の発するメッセージを理解する(講読)。その過程で、学生各自が本の全体像をイメージし、それにふさわしい自分だけの目次づくりに挑戦する(実践)。最終的には、各自に固有の 1 冊の単行本を完成させ、その実物の提出をもって成績評価とする。なお、授業は回ごとに「講読」「実践」だけでなく、講師の編集者としての経験を披瀝しながら(講義)、最終目標に到達することを目指す。

First, you read 11 thoughtful essays in Hiromasa Ichimura's *Forms of Little Things* (Chikumashobo, 1994) and understand the messages of the author (Reading).　While reading, you imagine the whole picture of the book that is unique to you, and try to create a table of contents (Practice).　Finally, you complete your own book.　Grading is done by submitting the book.
I will tell you many of my experiences as an editor (Lecture) and help you reach your end goals.

授業計画(Course Schedule)

1. 【オリエンテーション:講義】思想的エッセイ集を編む①――講師紹介／学生自己紹介
2. 【講義】思想的エッセイ集を編む②――「筑摩書房と『私の大敗北の歌』」
3. 【講読】市村弘正『小さなものの諸形態』所収のエッセイを読む①――「小さなものの諸形態」「考える言葉」
4. 【講読】同②――「文化崩壊の経験」「友情の点呼に答える声」
5. 【講読】同③――「家族という場所」「落下する世界」
6. 【実践】編集入門①――原稿を印刷所に入稿するための ABC
7. 【講読】市村弘正『小さなものの諸形態』所収のエッセイを読む④――「在日三世のカフカ」「『残像』文化」
8. 【講読】同⑤――「貧民の都市」「夢の弁証法」
9. 【講読】同⑥――「経験の『古典』化のための覚え書」
   【実践】編集入門②――装丁イメージの発表
10. 【実践】編集入門③――各自の目次内容を発表／グループごとに検討・決定／オビ原稿の提出
11. 【実践】編集入門④――「編者あとがき」の提出／組版の決定／装丁の決定
12. 【実践】編集入門⑤――完成した装丁を確認しながらオビ原稿を発表
13. 【講義】思想的エッセイ集を編む③――「読書することと引用すること」(市村弘正の思い出)
14. 【まとめ】本ができた！／学期の総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業計画のなかの「講読」では、テキスト(エッセイ)を読んで、それについてのレポートを持ち寄る(数人の担当者が発表)。「講義」は、聴講した後、内容を復習して次回に備える。「実践」は、単行本の目次内容と版面のイメージを検討するので、自身のアイデアを用意しておく。また、オビ原稿の作成、「編者あとがき」の執筆は時間外で行うものとする。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業で発表し、意見を述べる(60%)/最終制作物(40%)

原則として 3 回以上欠席すると、単位取得不能とする。

テキスト（Textbooks）

1. 市村弘正、2004、『増補　小さなものの諸形態』、平凡社 (ISBN:978-4-582-76496-3)
現在、出版社で品切れになっているので、テキストはコピーで配布する。

参考文献（Readings）

1. 市村弘正、1994、『小さなものの諸形態』、筑摩書房 (ISBN:4-480-84232-2)
1 は、テキスト欄に掲載の「平凡社ライブラリー」版の単行本原本。

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

「講義」ではパワーポイントを用いて、理解の深化を計る。最終的にできあがった単行本は、授業の記念として 2 冊ずつ学生各自が持ち帰ることができるようにする。

注意事項（Notice）